

# 「見える化」の取組例

開く

## 施設 親しみやすく見学しやすい施設にします

### 見学施設の子供向け重点的整備

○下水がきれいになるまでのプロセスを、体感しながらストーリー仕立てで理解できるよう、見学コースを再整備します。

### 見学施設の若者・大人向け重点的整備

○従来の施設見学にAR\*1などのデジタル技術を組み合わせ、見えにくい施設などを可視化することで、お客さまに下水道をより深く理解していただけるよう、見学コースを再整備します。

### 見学施設の標準的整備

○水再生センターなどの下水道施設を、誰でも見学しやすいよう、教育、ユニバーサルデザイン、多言語対応などの観点から、施設の状態に応じて、見学ルートを順次再整備していきます。



水再生センター内を旅するストーリー演出 (イメージ)



ARによりCGや動画で情報を表示

伝える

## 工事 下水道施設整備の目的とその効果をお知らせします

### 大規模事業の情報発信

○お客さまに下水道工事の必要性について理解を深めていただけるよう、大規模事業の概要や特徴などの情報をホームページでよりわかりやすく発信していきます。



豪雨からまちを守る工事の取組

## 教育 次世代を担う子供たちに下水道の大切さを教えます

### 下水道マイスターの育成（下水道教育事業の充実）

○子供たちに、下水道を正しく理解し、未来の水環境について主体的に考え行動する「下水道マイスター」となってもらえるよう、小学4年生を中心に下水道教育事業を充実させていきます。



でまえ授業

魅せる

## 未来 東京下水道の優れた技術や取組を世界に向けて発信します

### 東京2020大会の開催機運の醸成に貢献 / 国際水協会 (IWA) 世界会議・展示会を契機とした東京下水道の情報発信

○東京2020大会に向け、東京の水環境改善や安全安心な大会の開催に下水道が寄与していることなどを国内外に広く発信し、開催機運醸成に貢献していきます。

○IWA世界会議・展示会において、東京下水道の優れた技術や取組を国内外へ広く発信します。



IWAアジア太平洋地域会議 (マレーシア)

## 出会い 「下水道で遊ぼう！楽しもう！」をテーマに下水道に触れるきっかけをつくります

### VR\*2で下水道施設を疑似体験

○神田下水\*3など、地下にあって見る機会の少ない下水道施設について、見学を疑似体験できるよう、VR技術で新たに映像化します。インターネットやイベントなどで手軽に楽しく体験できるようにし、下水道施設をより身近に感じていただけるようにします。



神田下水

\*1 ARとはAugmented Realityの略称で、現実の環境に情報を付与する“拡張現実”と呼ばれる技術

\*2 VRとはVirtual Realityの略称で、まるでそこにあるかのような環境を人工的に作り出す“仮想現実”と呼ばれる技術

\*3 神田下水とは、明治17(1884)年に初めて日本人の手により計画・設計・敷設された我が国初の近代下水道。レンガ造りで、現在も現役で稼働中